

海外安全対策情報（平成28年10月～12月）

1 治安情勢と一般犯罪の傾向（シカゴ市）

シカゴ市警察が発表する統計によると、2016年第4四半期（同市警が公表する11月6日現在）までの同市における主要犯罪（※）の発生件数は合計52,983件となり、**前年同時期比で約16%増加**しました（一昨年同時期から増加）。主要犯罪の発生件数は以下のとおりですが、引き続き主要犯罪全てが増えています（2016年末現在の殺人事件の総数は762件、前年同時期比約+64%）。

地域的には、以前からシカゴ市南部及び西部の治安は劣悪なほか、中心部においても悪化傾向にあることから十分な注意が必要です。

シカゴ市と同様に各州の主要都市でも、危険とされる地域には、徒歩では勿論のこと、公共交通機関や自家用車利用による立ち入りも控えるようにして下さい。また、安全とされる地域においても、深夜の外出を控えたり、人通りの少ない通りを避けたりするなど犯罪に巻き込まれないための自衛策が必要です。

シカゴ市内における主要犯罪（※）の発生数（増加率は概数）

	2016年	2015年	増減率
殺人	643	416	+55%
強姦	1,567	1,349	+16%
強盗	9,945	7,955	+25%
重傷害	6,396	5,715	+12%
侵入窃盗	11,919	10,881	+10%
窃盗	12,919	10,775	+20%
自動車窃盗など	9,594	8,488	+13%
けん銃等の発砲	3,092	2,094	+48%

2 邦人の被害事例（強盗）

12月24日（土）午後5時ころ、邦人男性が1人でシカゴ市南部の路上を歩いていたところ、前から近付いて来た黒人の3人組の男らがけん銃を所持していると思わせて金品を奪うといった強盗事件が発生しました。なお、被害男性は抵抗しなかったことから、幸いにして怪我は負いませんでした。

《被害に遭った時は・・・》

- 万が一、強盗に遭った場合は抵抗しない。また、ひたたくりに遭った場合は引きずられる危険があるので、抵抗せず荷物から手を離す。犯人は狙った物はなんとしても盗んでいこうとするため、自分の身の安全を第一に考える。

- ジャケットの内ポケットから財布を取り出そうとする等、武器を取り出すと犯人に誤解されるような行動は取らず、現金の位置を示して、犯人に取らせる。
- 可能な範囲で、犯人の顔、人種、年齢、背丈、体格、髪型、服装、言動、車のナンバー等を記憶し、警察に通報する。